

## 知床五湖（一湖）園芸スイレン除去実施結果について（報告）

### 1. 一湖園芸スイレン除去について

知床五湖地区は知床国立公園の特別保護地区に指定されており、湖面が周囲の深い森や知床連山を投影する姿は知床を代表する景観となっている。しかし近年、1950年代に観賞用に移植された園芸スイレンの繁茂が著しく、観光シーズンである夏期においては湖面に知床連山が映る景観が失われつつある（写真1）。また、侵略的外来種である園芸スイレンによる湖面の優占は、ネムロコウホネやオオタヌキモのような希少な在来種によって構成される生態系の保全の観点からも懸念が大きい。

そのため特に繁茂が著しい一湖において、令和5年度の植生調査を経て令和6年度より除去を開始した。令和6年度は区画1（図1）を中心に除去作業を行った。実施日及び作業量は表1のとおり。



写真1. 知床五湖の一湖

2010年8月某日撮影

2024年9月1日撮影

表1. 園芸スイレン除去作業実績

実施日	人数	時間(h)	艇	除去量 (kg)
5月14日	13	4	5	220
5月15日	12	3.5	5	220
5月28日	25	4	10	1,220
6月4日	10	4.5	4	280
6月12日	16	4.5	9	540
6月13日	22	4.5	8	460
6月26日	22	2.5	9	200
6月27日	26	2.5	9	340
7月19日	9	5	2	120
7月25日	8	3	3	100
8月15日	7	3	4	140
累計	11日	170	41	3,840

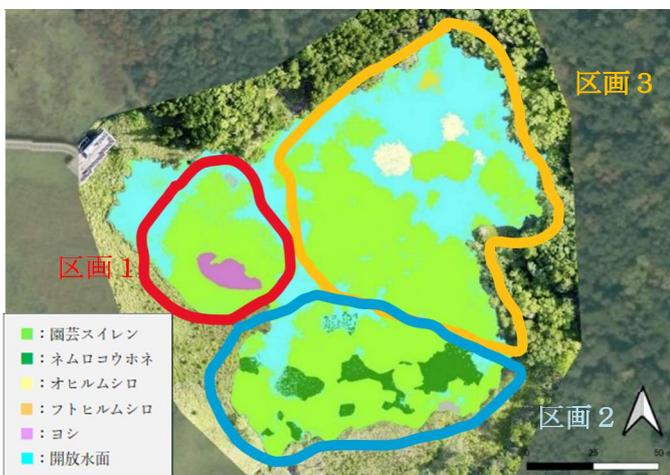


図1. 一湖における園芸スイレン除去区画

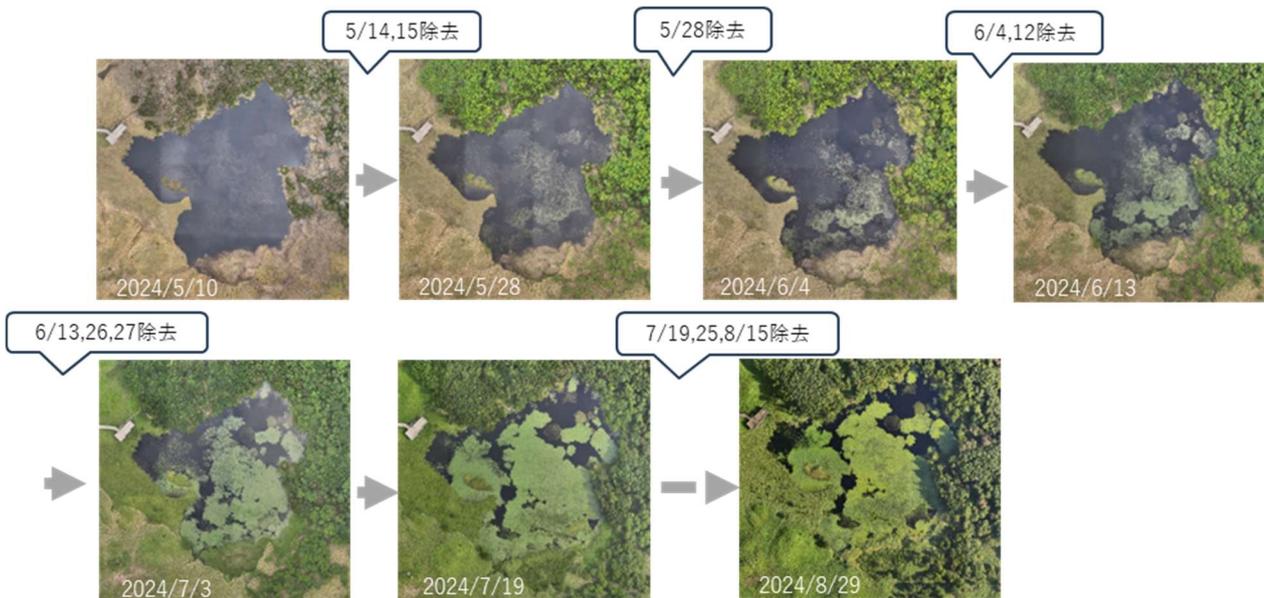


図2. 一湖の湖面状況推移

## 2. 令和6年度除去実施体制について

令和6年度の除去実施にあたっては、環境省、業務受託者である知床財団、園地関係者の他、ボランティアとして登録引率者を始めとする自然ガイドや地域住民の参画があった。

特に6月26日、27日については国立公園指定60周年・世界遺産登録20周年記念事業「みんなで知床五湖の園芸スイレンを除去しよう！」と題しイベントとして実施した。ボランティアを一般公募集としたところ、たちまち定員15名を超える応募があり、町外からも含め幅広い層からの参加があった。また、水辺の作業に必須であるライフジャケットについては、国立公園オフィシャルパートナーである株式会社ゴールドウインから無償で借り受けた。イベントの様子は一部テレビや新聞でも取り上げられた。



写真2. イベントの様子(読売新聞提供)

国立公園指定60周年・世界遺産登録20周年記念事業

みんなで  
**知床五湖の園芸スイレンを除去しよう!**

～外来種問題に取り組む地域イベント～  
「知床五湖の一湖に繁茂する園芸スイレンの除去作業」

どうして?  
知床五湖の一湖で年々勢力を増す園芸スイレンは、知床五湖の在来種の生態環境を脅かす存在でもあります。今回は一湖にボートを浮かべて、皆で園芸スイレンの除去作業をおこないます。

**2024. 6/26 水・27 木 8:30 ~ 12:00**

●定員: 各日15名(先着順) ●集合場所: 知床五湖駐車場 ●作業場所: 知床五湖一湖の湖面  
※悪天候時中止

持ち物

- 濡れても良い格好(運動性のある服)
- ライフジャケット(お持ちの方)
- 作業用軍手
- 長靴(スライクなしのもの)またはウォーターシューズ
- タオル
- リュック
- 飲み物
- 帽子

申込  
詳しいお申し込みは  
6/23(日)まで

公益財団法人知床財団 公園事業係 担当: 片山  
〒997-0001 知床  
mail: info@shiretoko.or.jp  
tel: 0152-24-2114

図3. 地域イベント参加募集チラシ